

## 議 事 概 要

会議名	平成28年度 第11回 海津市地域公共交通会議
日時	平成28年6月1日(水) 15:00~16:40
場所	海津市役所東館 4階 災害対策本部室
出席者	委員22名 オブザーバー 羽島市2名・輪之内町1名 事務局6名(海津市4名、ランドブレイン(株)2名)
議題等	議題1 平成27年度決算について 議題2 平成28年度予算(案)について 議題3 海津市コミュニティバス利用状況について(報告) 海津市コミュニティバス利用者調査について(報告) 海津市コミュニティバス要望等一覧表(報告) 議題4 海津市コミュニティバス運行見直し(案)について ・運行ダイヤ・ルート改正(案)について ・バス停の設置について 議題5 平成29年度生活交通確保維持改善計画(案)について
議事概要	
<p><b>議題</b></p> <p><b>【議題1】平成27年度決算について</b></p> <p>○事務局からの説明(資料1に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度決算について</li> </ul> <p>○監事から監査報告</p> <p>質疑等なし</p> <p>○原案のとおり承認</p> <p><b>【議題2】平成28年度予算(案)について</b></p> <p>○事務局からの説明(資料2に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度予算(案)について</li> </ul> <p>質疑等なし</p> <p>○原案のとおり承認</p> <p><b>【議題3】海津市コミュニティバスの利用状況について</b></p> <p>○事務局からの説明(資料3-1、3-2、3-3に基づき報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海津市コミュニティバス利用状況について</li> <li>・海津市コミュニティバス利用者調査について</li> <li>・海津市コミュニティバス要望等一覧表</li> </ul> <p>質疑等なし</p> <p><b>【議題4】海津市コミュニティバス運行見直し(案)について</b></p>	

○事務局からの説明（資料４－１、４－２に基づき説明）

- ・海津市コミュニティバス運行見直し(案)について  
運行ダイヤ・ルート改正(案)について  
バス停の設置について

○委員からの質問・回答、意見等

・利用状況も含めて学生が10名減ったということですが、この10名がどのように経路を変えたのか、自転車にしたのか、あるいは単純に減っただけなのか、など分析はしているのでしょうか。新しい路線でこの10名をフォローすれば元にもどるのでしょうか。

また、乗合率をもっと高める方向へもって行ってほしい。デマンド予約を断る件数は潜在的な需要があるということだと考えられます。海津温泉へ行くということであれば、ある程度まとまって行けると思います。

→現在海津温泉から帰宅する便について、なるべく乗合率を高めるために、帰宅時間をあわせていただいたり、6名一度に乗っていただいたりして乗合率を上げるようにしているところです。行きに就労施設に行く人も同じ車なので、工夫して一緒に乗っていただけるようにしております。乗合率を上げるよう今後いろいろ協議させていただきたいと思っております。

最初の高校生10名の減少についての検証についてですが、減ったのは特に(旧)南濃北回線の地域が中心になります。そこからの移動は、養老鉄道美濃津屋駅から乗り継いで駒野からコミュニティバスで通学していると想定しております。実際のところ10名というのも検証にいたっておりませんが予測としてお話しさせていただいております。

・苦情の中で予約が取れないというのがかなりあるのですが、これについての対策はどのように取っておられますか。また、運転手さんのことなど他の苦情は、苦情が来たときに対応しておられるのでしょうか。

→予約が取れない状況に対する対策については、現在電話2回線で運営しており、この苦情を解消するためには回線を増やす必要があります。予約が取れない状況がどのようなものなのかと言えば、8時半から9時過ぎまでの時間帯が込み合って予約が取りづらい、電話がかかりづらい状況になっています。今できる対応策としては、各施設・会議などで、電話予約が取りづらい時間帯を周知させていただいています。これからも周知を進め、予約電話分散対策をとって、更にだめであれば回線を増やすことを検討したいと考えています。

予約の件については、回線以外に車の台数5台、車が圧倒的に足りない状況もあります。毎月30件お断りする状況を踏まえて、1台増やすのかを見極め、お昼など予約が取りやすい時間帯を周知しています。

他の苦情については、苦情があるたび営業所へ行き、どのような状況が苦情の原因になるのか運転手も交え検証し、再発がないよう確認しております。

・回線や台数増加は最終的なことと考えているので、やはりなぜ取れないのか分析して住民に周知することが先だと思います。運転手さんに対しては、安心感を持って乗るために、話し合っただけで安全安心して乗っていただけるようお願いいたします。

・利用人数はそれほど多いわけではなく、この地域の特徴があると思います。新しいデマンドルートについて見ると、温泉に向かっていくルートが圧倒的に多く、このルートを上手くつないで整理する必要があると思います。少し気になるのは、南幹線と海津羽島線がオーバーラップしています。デマンドルートの頻度を見ると、平原あたりから温泉に向かう使用頻度が多く、ここのような動きをもう少し分析して工夫する余地があるように思います。

→その検討はさせていただいております。定時定路線とデマンドそれぞれの役割があり、デマンドは大きな定時定路線のバスと違い、平原のように道の狭い集落内へも入って行けます。また集落が分散しているので定時定路線では拾いづらい。また定時

定路線では市外からの観光客を重点的に拾いたいと思っておりますので、そうした役割を考え設定させていただいております。

・道路事情は仕方がないことだと思いますが、デマンドはコストも高いし、定時定路線のバスがもったいないなという気もします。もう少しワンボックスのように小さいバスやシャトルバスという考え方もできます。

○原案のとおり承認

#### 【議題5】平成29年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○事務局からの説明（資料5に基づき説明）

・平成29年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○委員からの質問・回答、意見等

・2ページの(1)目標指標の通学利用は高校生も含むのですか。含むのであれば下の高校生の利用減少とつじつまがあわないと思います。またこの書き方ですと、路線編成がよくなかったから、と読み取れるのですがいいのですか。

また、事業の効果、木曾三川公園の記述に関して、これはコミバスのことだけをやっているのですか、8月廃止予定の名阪近鉄との整合性はどうなっていますか。

→通学利用を除く利用者数はキッズパスポートの小学生の分です。記載の仕方は訂正したいと思っておりますが、事務局に一任お願いします。

名阪近鉄さんに運行していただいている木曾三川公園線については、チューリップ祭期間の土日に大垣から運行をお願いしております。廃止にともなう代案は今検討しているところでございます。大垣方面からチューリップ祭に来ていただくので、養老鉄道を使い石津下車、石津からシャトルバスで行っていただくことを考え検討していますのでご理解いただきたいと思っております。

なお木曾三川公園線チューリップ祭に来ていただいた方は、今年約80名ほどであったことを報告させていただきます。

・路線変更に伴う高校生の利用減少、人口減少とあるのですが、アンケートの中に「料金が高くなった」ともありますので、コミュニティバスを使うのであっても、デマンドを使うのであっても、よりよい利用方法の見本を提示、PRをしていただくとよいのではないのでしょうか。例えばデマンド予約時に、「これだったらコミュニティを使った方が便利ですよ」といった案内などを考えていただければいいのかな、と考えました。

→PRの方法は他の市町さんも参考に、観光施設をメインに商工観光課とも連携しながら今考えているところです。わかりやすいチラシなどもできたらいいと思っています。

・PRについて言えば、昨年私が視察した福井には駅に「バスの使い方」パンフがあったので参考に持参しました。いろいろな所から資料を取り寄せて、チューリップ祭などの利用者数を増やす参考にするといいと思います。

事業目標のところ、去年の目標とその結果減少と今年の目標設定が書かれていますが、数字が羅列されているだけの印象で、何を根拠にして目標数字があげられているのかわかりません。今年の目標数字の根拠がわかる書き方にしたほうが、説得力があります。

○原案のとおり承認

#### その他

○委員からの意見等

・コミュニティバスとデマンドのすみ分け利用は残念ながらあまり上手くいって

ないのが現状かと思えます。

すみ分けする方法はいろいろあるかと思えますが、わかりやすくやろうとすれば「ある地域の人には使えるがある地域の人には使えない」「ある時間帯はあるがある時間帯はない」等となります。使える人を整理し、デマンドとコミバスのすみ分けをすることが必要です。海津市においては非常に足の長いデマンドが課題です。今あるデマンドのデータを解析してすみ分けて行く、検討を重ね工夫を継続的に行うことが大切かと思えます。

先ほど台数追加の話が出ましたが、5台が妥当かどうかは判断がむずかしいと思えます。追加が必要かどうかはそれぞれの市町で分析検討する必要があります。

また、路線バスの利用がこれによって大きく変わったかどうかは気になっていません。利用状況に大きな変化があったとすれば、今後市内の公共交通全体を見る必要がありますので今後気にかけていってほしいと思えます。

最後に利用促進・PRについては、パンフ作製・説明を行う職員の方は大変ですが、今後地道にやっていくことを検討してください。

・南濃町の中学校が合併しまして、養老鉄道を利用する生徒さんが、石津駅美濃松山駅で増えました。駐輪場を作っていたのは大変ありがたいのですが、養老鉄道の車両が200人近い生徒さんで一番込む時間に2両しかありません。3車両に増やしてもらうことは提案できるのですか。

→中学校の合併にともなって、特に学生さんの利用が増えていることは充分認識しております。当社の車両編成は2両か3両しかありません。お客様の流動状況を見ながら両数を決めています。海津の学生さん以外に、例えば桑名など他の地域にも様々な方向へ向かうお客様がおられ、一番効率的なダイヤをめざしております。今回の合併に伴う学生さんにご不便をおかけしていること、大変申し訳なく思いますが、限られた資源の中でより快適に効率的に運行できよう検討してまいりますので、よろしくお願いたします。

#### ○事務局から報告

・配布させていただきましたバスの写真でございますが、海津市コミュニティバス海津羽島線において、4月から運行しています新しいバスでございます。また、4月18日にデマンドバス利用者が1万人を達成し、海津市長から利用者に記念品を贈呈しましたので、その時の新聞記事でございます。

・「かいづっち養老鉄道応援パスポート」ですが、パスポートを利用し、城南中学校へ200名弱の生徒が養老鉄道で通学しております。

・養老鉄道におきましては、沿線市町と近畿日本鉄道(株)および養老鉄道(株)とともに存続させることとなり、地域公共交通の活性化および再生に関する法律に基づく鉄道事業再構築実施計画の認定を受けて新たな事業形態に移行させることで合意し、今後7月頃に法定協議会を設立し、地域公共交通網形成計画、鉄道事業再構築実施計画を策定し、平成29年中に新しい事業計画での事業開始ができるよう進めていくこととなっています。

○事務局から今後の予定について説明

閉会

以上